

令和2年6月23日

学校法人三幸学園  
横浜ビューティーアンドブライダル専門学校  
校長 小泉 いづみ 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 高橋 健二

### 学校関係者評価委員会実施報告

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員

- ① 高橋 健二 (株式会社MSLASH HD ディレクター)
- ② 関 久美 (ピアス株式会社 ATS 統括部 部長)
- ③ 花咲 義樹 (ピアス株式会社 ATS 人事部 採用部 部長)
- ④ 田沼 亜沙美 (2013年度トータルビューティー科卒業生)
- ⑤ 杉山 ゆりえ (2015年度美容科卒業生)
- ⑥ 長谷川 力 (飛鳥未来高等学校 教務主任)

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和2年6月23日 (会場 横浜ビューティーアンドブライダル専門学校503教室)

##### 3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2019年度 学校法人三幸学園 横浜ビューティーアンドブライダル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：教務課長 前川 竜也

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 高橋健二

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

生活指導の強化(挨拶、精皆勤率、基本ルール)、退学率の低減、生徒満足度向上を目標に学校運営を行った。下記目標と結果

退学率 目標 4%(1年 6% 2年 2%) 結果 11.5%

精皆勤率 目標 52.5%(1年 55% 2年 50%) 結果 28.9%

※目的喪失や進路変更が多く見受けられる。目的や進路を見失わないような授業力の向上と将来への動機づけの見直し、指導強化ポイントを精査し徹底する

### ① 学校関係者評価委員会コメント

高橋委員(美容科について)

コロナの影響で卒業生内定者が出勤できない状況が続いたが、自宅でシャンプー練習などを行い自分で今何ができるか常に考えで努力をしている様子が伺えた。

関委員(トータルビューティー科について)

入社後のギャップ、人間関係のコミュニケーションが原因で退職につながるケースはある。

いかに、業界全体のイメージとのギャップを埋めていくかが課題である。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

学科コースが複数に分かれる為、今後は特色を踏まえうえでより明確な方向づけを検討する

美容科:美容師・アイリストに求められる人材像

トータルビューティー科:エステティシャン、美容部員、ネイリストに求められる人材像

#### ② 今後の改善方策

各業界の研究からニーズに合わせて再検討

#### ③ 特記事項

特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

杉山委員(美容科について)

お客様とのコミュニケーションをいかにとれるかが重要。カウンセリング力、接客力など相手のことをいかに考えられるかが大切。学校生活の中でいかにコミュニケーション能力を身につけられるかが重要。

田沼委員(トータルビューティー科について)

技術だけでなくコミュニケーション力が大切。向上心を持ちつづけ、素直な気持ちを持ち続けられるかが大切。コミュニケーションの手段もメールやLINEではなく対面で行っていくようにすることが大切。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

美容科:コロナ禍のような災害に対応するシステム化検討

トータルビューティー科:システム化や業務のスリム化が必要

### ② 今後の改善方策

美容科:オンラインやオンデマンドによる授業の検討実施

トータルビューティー科:全国姉妹校との連携による統一した技術の検討

### ③ 特記事項

オンラインやオンデマンドによる授業の導入により様々な教育の可能性が出てきた。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

関委員(トータルビューティー科について)

現場の状況では緊急事態宣言に伴い、研修関係はWEBに切り替えた。

技術面は延期し集中カリキュラムをつくってる、説明会はWEBで行えている。

災害時は臨機応変な対応が必要。

長谷川委員(美容科、トータルビューティー科)

通信制の高校ではオンデマンドの授業がメインとなるので

コロナの状況は乗り越えることができた。通学の生徒にも応用できるので

今後はさらなる準備を検討。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

美容科:業界のニーズに合わせて具体的なシラバスを検討していく

トータルビューティー科:知識技能等を習得する研修等の充実

#### ② 今後の改善方策

美容科:サロンワーク等のシラバスを再検討

トータルビューティー科:後期に専門分野への講習会を検討

#### ③ 特記事項

特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

高橋委員(美容科について)

コミュニケーション能力、相手が望んでいることを想像できる人材を育成していくことが重要。

田沼委員(トータルビューティー科について)

マシンを使った施術が流行しており、他店との差がなくなってきている。

SNSを強化していく必要。人間力をいかに高めていけるかが重要。

関委員(トータルビューティー科について)

お客様の望むことを考えられる人材育成をしてほしい。

#### (4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

美容科:国家試験座学の合格率強化

トータルビューティー科について:前年度より退学率が増加 特に前期末に増加傾向

##### ② 今後の改善方策

美容科:全国模試の改定、統一模試の実施予定

トータルビューティー科について:前期に生徒の退学理由となる主な事案について事前のフォローアップガイダンスの実施

##### ③ 特記事項

特になし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

杉山委員(美容科について)

いかに生徒を引き付ける授業ができるかが大切。一人一人のレベルに合った授業をしてほしい。

仲間と一緒に成長できる環境があることがよい。

田沼委員(トータルビューティー科について)

将来必ず役に立つことを勉強できているので、今学んでいることの大切さを知ってほしい。

## (5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

美容科:就職先とのマッチングを意識し、企業の特徴や就職先に求めていることの把握の強化が必要  
トータルビューティー科:中途退学者への支援体制は行っていない。

### ② 今後の改善方策

美容科:卒業生との連携による情報共有の強化  
トータルビューティー科:中途退学者への支援体制の再検討、方向づけの検討

### ③ 特記事項

- ・新型コロナウイルス対応の支援金の実施
- ・コロナ禍に伴う、卒業生対象の支援制度の実施
- ・wifiの無料貸与の実施

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

高橋委員(美容科について)  
夢を持ち続けてもらえれば中途退学者でも採用は考えていきたい。

杉山委員(美容科について)  
卒業生に向けての支援制度の告知をもっと大々的にやってはどうか。

田沼委員(トータルビューティー科について)  
様々な支援の制度があり、とても良い。SNSをうまく活用していくことも大切。

関委員(トータルビューティー科について)  
退社を希望している方には一人一人と責任者と面談を行っていた。引き留めるのは難しい。  
普段のコミュニケーションが大切。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

美容科:現在は管理美容師の置かれている、美容施設にて、施設実習を行っている。将来の目標に合わせて実習ができるの良い

トータルビューティー科:現場の状況を踏まえた、教材、施設の見直し、業界のニーズにあわせて技術習得が必要

### ② 今後の改善方策

美容科:企業団体と連携し、できるだけ幅広い業種に対応していく

トータルビューティー科:現場の状況と学びがリンクするように機材等の見直しを検討

### ③ 特記事項

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

杉山委員(美容科について)

学校での授業も、実際の仕事で活かせる内容を増やすとよい。

授業の内容も今の流行に合わせて臨機応変に変えてもよいのでは。

眉毛のエクステンションなども需要が増えてきている。

花咲委員(トータルビューティー科について)

技術の向上も大切であるが、カウンセリング能力(相手が何を望んでいるのか)を身に着けることが学生時代は大切である。



## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題4

美容科、トータルビューティー科ともに募集状況は順調である。今後も適正な募集活動と、教育成果をしっかりと伝えていけるように努めていく

### ② 今後の改善方策

特になし

### ③ 特記事項

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

長谷川委員(美容科・トータルビューティー科について)

専門学校進学希望の学生はコロナの影響はほとんどない。

進学を諦めて就職をする学生は多少いるが、大きな変化はない。

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

### ④学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

今後も継続した法令遵守推進を進めていく

### ② 今後の改善方策

- ・会議や掲示物等を通じて、すべての職員の法令遵守に対する啓蒙を図る。
- ・個人情報保護法など、毎年継続し繰り返し法令の正しい知識を教職員に伝えていく。

### ③ 特記事項

- ・年2回のハラスメントに関する研修の開催

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

花咲委員（美容科・トータルビューティー科について）

企業では入社当時に研修をしっかりと行っていることが多い

管理をしっかりと行うためのマネジメント研修も行っていることが大切。

社員にも意見等を求め、改善できるようなシステムを作りが必要。

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

産学連携を推奨し、地域に貢献できる活動を増やしていく

### ② 今後の改善方策

美容科:学科の特色を活かし、小中学生を対象とした、地域ボランティアの参加

トータルビューティー科:横浜地区の介護施設等のボランティア等に参画予定

### ③ 特記事項

### ④学校関係者評価委員会コメント

高橋委員(美容科について)

小中学生に、美容に対して夢を与えられる仕事なのだと、憧れを持ってもらえるような活動をしていきたい。  
地域貢献を含め様々なコラボなどができるとよい。

## (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	4

### ① 課題

美容科、トータルビューティー科ともに

留学生の学校見学が昨年に引き続き増加している傾向にある為、学校生活に不安を抱え無いように十分な配慮や説明が今後さらに必要になってくる

### ② 今後の改善方策

三幸学園の本部が策定した留学生受け入れのマニュアルに沿った受入を行い、個別の学校見学などを行い不安を出来るだけ取り除く

### ③ 特記事項

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

田沼委員(トータルビューティー科について)

就職ビザの問題。コミュニケーションをお客様ととることが課題がある。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

美容業界をどう伸ばしていくかを考えた中で、学校と美容業界に共通して言えるのは、いかに良い人財を育てられるかということを再確認できた。

美容業界への興味を生徒の皆さんにより知ってもらえるために、サロン(卒業生の起業してしている方)などとコラボをしモチベーションアップに繋がられたら良いと思う。